

図書館へつらいっちゃん

前川喜平

四年前の今頃のこと、神奈川県鎌倉市図書館のツイートが話題になった。「学校が始まるのが死ぬほどつらい子は、学校を休んで図書館へいらっしやい」「一日ごとも誰も何も言わないよ」「学校へ行くくらいなら死んじゃおうと思ったら、逃げ場所に図書館も思い出してね」

この年の内閣府「自殺対策白書」は、十八歳以下の子どもの自殺を四十二年間累計した結果、夏休み明けの九月一日が突出して自殺の多い日だと伝えていた。それを知ったある司書さんが書き込んだのがこのツイート。僕はこれを読んで内心叫んだ。「そうだよ。図書館があるじゃないか！」

行くことが死ぬほどつらいなら、そんな学校へ行ってはいけない。命の危険のある場所へ行ってはいけないのだ。

同調圧力を強める学校に苦しむ子どもは増えている。不登校は十四万人を超えたが、不登校は「問題行動」ではない。小・中学校の教育は「義務教育」と呼ばれるが、子どもには学校へ行く義務はない。保護者も子どもに登校を強制することはできない。家の中に居場所のない子どももいるから、図書館は最高の逃げ場所だ。

すべての子どもたちに伝えたい。「学校は行かなくてもいいんだよ」「死ぬほどつらいんだっつら、行っちゃだめだよ」「学校の代わりに図書館なんかどう？」と。

〈現代教育行政研究会代表〉

「東京新聞」二〇一九年八月二十五日朝刊〈本音のコラム〉より、執筆者のご了解を得て掲載しました。

お申し込みにあたってのお願い

本講演会は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、できる限りの対策を講じた上で開催いたします。ホールの定員は通常 350 名ですが、今回は半数に限定して開催します。なお会場にお入りいただく前に、お客様全員に検温や手指の消毒をお願いいたします。時間帯によってはお並びいただくことが予想されますので、お早めのご来場（13 時 15 分より受付開始）をお願いいたします。また当日発熱等の症状がある場合はご参加をお控えください。マスク着用のほか、ロビーなどでの会話のお控えもお願いいたします。また開演中も出入り口扉は開放いたしますのでご了承ください。

万が一、ご来場者様の中から感染者が発生した場合は、保健所が実施する行動履歴などの調査へのご協力をお願いいたします。今後の感染拡大の状況によっては、残念ながら講演会を中止させていただく場合もございます。ご来場前には必ず主催団体の公式ツイッターやホームページをご確認ください。

町田の図書館活動をすすめる会ホームページ <https://machida-library.jimdofree.com/>

お申し込み方法 会場参加またはオンライン参加から選択

会場参加 175 名（資料代 500 円は当日会場にて）

申込・問合せ先

「町田の図書館活動をすすめる会」事務局（手嶋）まで E-mail または FAX にてお申し込みください。FAX の場合はこのまま記入して送信、メールの場合は下の項目をメール本文にお書きの上、件名は「前川氏講演会」と明記ください。

Mail susumerukai1984@gmail.com Tel&Fax 042 (676) 4352

当日の緊急連絡先 090(1863)5174(鈴木) 090(6102)1718(守谷)

申込締切 10 月 25 日（日）（定員になり次第締め切らせていただきます）

オンライン参加 100 名

下の QR コードを読み込んでお申し込みください。資料は事前にメールでお送りします。



FAX 送信用紙

送信先 042-676-4352

11 月 1 日の前川氏講演会に会場での参加を申し込みます。

参加者氏名

電話番号（つながりやすい電話）

メールアドレス（ブロック体で正確にお書きください）

郵便番号と住所